

東日本大震災で被災されたみなさんに、心からお見舞い申し上げます。
 私たちセンスオブアースは、いたばし災害支援ネットワークに参加、協働して被災地を支援します。

◎復興に向けての支援募金のお願い◎

岩手県陸前高田市へ看護師さんたち5人を派遣する費用となります

振込先：みずほ銀行 蓮根支店 普通1030551

NPO センスオブアース

『東日本大震災支援募金』と明記してください

☀ SOE 環境教育出張授業中学校編

2011.4

S.O.E. News no.64

ホームページもご覧ください。

NPO-SOE.JP

NPO センスオブアース・市民による自然共生パンゲア からのお知らせ



赤塚第二中学校1年4生クラス 「食べ物はどこから」授業実施

3月11日
3月15日

—授業直後大地震発生—131名が整然と見事に避難した!—

3月11日と15日の2日にわたり、2時間授業分の内容を各日半分づつに分け、4クラス合同の環境学習を行った。初日は、地図作りを通して、食料輸入の実態を明らかにするものだった。1学年4クラス131名合同の授業にもかかわらず、みんな真剣に取り組を進め、切り貼り作業をすみやかにこなしていたのには大変感心した。2日目は、買い物ゲームを2クラスずつ合同で行った。

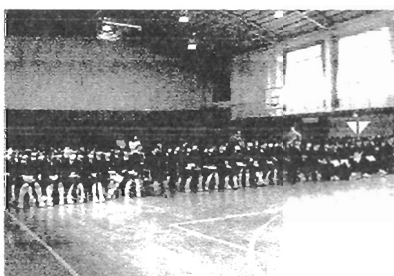
赤塚二中1年フードマイレージ学習後のふりかえりと改善行動：調査 131人中



131名中、59名が楽しかった、やや楽しかった61名計120名が肯定的に感じたようだ。フードマイレージを初めて知った人は108名、温暖化を防止するのにフードマイレージを減らすことが役立つと考えた人が124名に上った。これはこの環境学習をしたことにより、一人ひとりが環境の改善のために行動できることの幾つかを理解したのではないかと感じた。

《生徒の感想から》

- 地球は今、大変な状態なので今から地球を救う手立てを考え実行しようと思った。
- 食べものを残すことは世界にもよくないし、未来のためにも。
- この授業を学んでもっと、食料のことを考えなくちゃいけないと思いました。
- 食べものを残さない。また国産のものをかうようにしたい。
- 食料自給率がこんなに低いと初めて知った。
- 他にももっといろいろな食品のフードマイレージなどを調べてみたくなった。
- とっても生き生きした授業だった。楽しかった。



最後に3月11日午後2時47分発生の中日本大地震は、この授業の直後生徒たちが体育館からの移動中に起きた。1年生131名全員、生徒は一人も乱れず、整然と教師の指示に従い、素晴らしい避難行動を取ったことを証言したい。この日の赤塚第二中は、東上線ストップにより一般市民が体育館に避難。厳寒の中、稲葉校長、小柴副校長ともに急な避難所となった対応で一晩を過ごしたと伺った。



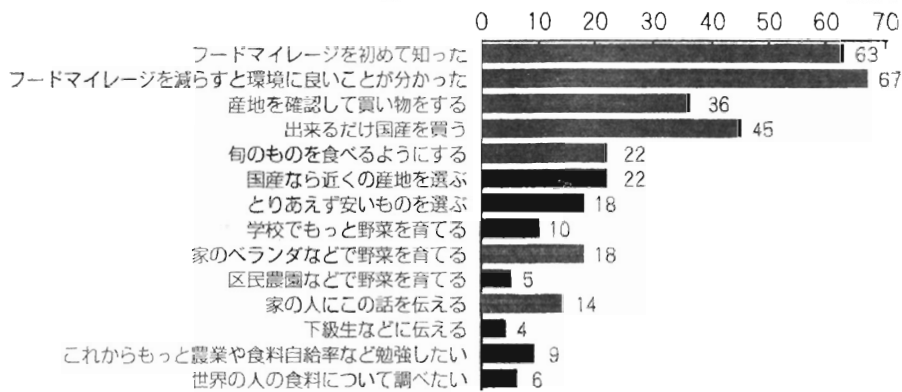
中台中学校3年生「食べ物はどこから—フードマイレージを学ぶ」3月4・8日

「フードマイレージを減らすことが環境に良いと分かった。」94%など一区内中学校で進む環境学習



生徒会や部活が活発な中台中で、3年間学び卒業を10日後に控えた3月初旬、総合の学習で、食料自給率と、温暖化の問題を見つめる環境学習を行いました。卒業行事が立て込む中でも、生徒たちは、真剣に考えを出し合い、自分のライフスタイルの見直しを行いました。以下は、この学習を終えて、生徒たちが考えた、ライフスタイルを見つめた自分のアクションです。

中台中3年フードマイレージ学習後のふりかえりと改善行動：調査 72 人中



上記の改善行動はあくまで、NPO 側が提案した環境改善行動の中から選択する形での調査である。他にも食べ残しをしないと答えた人が圧倒的に多く、今までは、輸入品を買うことがよいことだと思っていたがこれからは国産を買う、買い物を工夫することでフードマイレージを減らすことが出来ることを知った、今日のことをたくさんの人に知ってほしい、自分が将来、何を考えればいいかわかったなど、毎日の食べ物から出る問題を自分の問題として受け取っている様子が見られ、15歳の知性からくる清新な判断力を感じる時間だった。

《学生スタッフの感想◎日本女子大学 1年 浅香詠未》

今回の授業は、私にとって初めての中学生ということもあり、少し緊張して臨んだ。また前は小学5年生でそれと同じ内容を中学3年生と行うということで、どのようになるのか楽しみでもあった。

最初は、あまり乗り気には見られなかったが、自分たちで作業をし、その結果から意見を考えるという授業形態は、生徒の関心を高め、楽しく真剣に取り組んでいるなと感じた。なので、普段の授業から受身の講義的な授業ではなく、実践型で考える力を養える授業が重要だなと改めて思った。私自身は、どのように生徒と接していけばいいのかわからず迷っていたが、共に作業をすることにより、生徒との距離を縮めることができることがわかり、とても良い経験となった。また、何歳になっても褒められることは嬉しいことだとわかり、それぞれの良いところを見つけてあげることができるようになりたいと思った。

フードマイレージについてですが、この授業に参加するまでは詳しいことは知らなかった。しかし、私の家が入っている、“生活クラブ”は、フードマイレージを考え近い産地から新鮮なものを配達しているということを知った。私もこの授業で学んだことを実生活で活かしていきたいと思う。

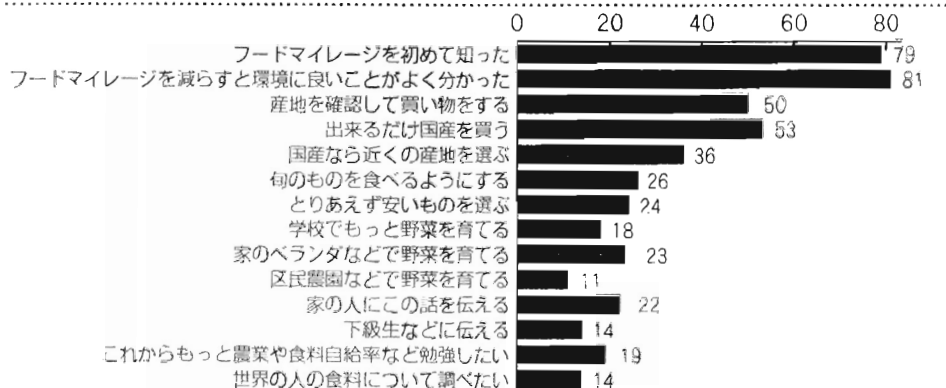


志村第二中学校3年生3クラス 「食べ物はどこから」 3月14日

3月14日、卒業を真じかに控えた3年生の生徒たちが体育館に集まった授業でしたが、みな真剣に取り組んでいたのが印象的でした。

私たちが一番願っていることは、単なる知識で終わるのではなく、最後に書いた「自分のライフスタイルの目標」を少しでも実行に移し、かつ継続してほしいと思っています。

志村第二中3年フードマイレージ学習後のふりかえりと改善行動：調査89人中



● S.O.E. 活動報告 (2011年2月)

日	曜	内 容
2	水	赤塚小5年 「食べ物はどこから」の環境学習実施
3	木	赤塚新町小 総合加藤先生と授業打合せ
4	金	連根第二小 東京都学級経営研究大会参加
5	土	～6日 環境なんでも見本市SOE出店 エコポリスセンター
8	火	赤塚新町小5年生 「食べ物はどこから」環境学習 授業実施
10	木	赤塚新町小6年生 「ペットボトルの水」環境学習 授業実施
13	日	2月号ニュース発行作業・ワークショップ
15	火	板橋区中学校校長会に出席 環境教育プログラムの 説明・志四小授業打合せ
18	金	富士見台小5年生 「食べ物はどこから」環境学習 授業実施
21	月	志村第四小 4年1組 「学校の木を決めよう」 環境学習授業実施
22	火	中台中中里先生と食べ物どこから 授業打合せ
24	木	志村第四小 4年2・3組 「学校の木を決めよう」 環境学習授業実施
27	日	SOEワークショップ～幼児保育園用 環境プログラム開発話し合い

(2011年3月)

日	曜	内 容
1	火	高島第三中2年2クラス 「ペットボトルの水」 環境授業実施
3	木	高島第三中2年2クラス 「ペットボトルの水」 環境授業実施
4	金	中台中3年2クラス 「食べ物どこから」 環境授業実施
6	日	スズガモを見る観察会共催 10:00～15:00 於 葛西臨海公園
7	月	志村第二中3年担任 授業打合せ
8	火	中台中3年1クラス 「食べ物どこから」 環境授業実施
11	金	赤塚第二中 1年4クラス合同 「食べ物どこから」 1コマ目東日本大地震発生
14	月	志村第二中 3年3クラス 「食べ物どこから」 環境授業実施
15	火	赤塚第二中 1年 4クラス 「食べ物どこから」 環境授業実施
26	土	エコポリスセンターあり方懇談会参加

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp